

③胃体上部前壁



<https://kotobukimedical.com/esd-training/G-master/setting>
 セッティングの手順を動画でもご覧いただけます。



③胃体上部前壁セッティング完了イメージ

- ・はじめに、【X チューブ左右】を0位置に戻してからセッティングするとスムーズです。
- ・【Z チューブ上下】調整の際、指を挟まないようご注意ください。

記号	箇所名	位置番号											
		SET		1 (直線)		2 (曲面)		S : 1 (送気) ⇔ 2 (脱気)					
R	粘膜保持アーム右	SET		1 (直線)		2 (曲面)		S : 1 (送気) ⇔ 2 (脱気)					
L	粘膜保持アーム左	SET		1 (直線)		2 (曲面)		3 (脱気)					
A	垂直回転位置	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
B	水平回転位置	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
Y	チューブ前後		+20	+10	0	-10	-20	-30	-40	-50			
X	チューブ左右	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	
			110	120	130	140	150	160	170	180	190	200	210
Z	チューブ上下	0	10	20	25	30	35	40	45	50	60	70	80
W	チューブ角度	-20	-10	0	5	10	15	20	25	30	35	40	40
M	ヘラ差込み位置	無し	1	2	3	4	5						
	背面ゴム紐	無し	有り										

調整機構の名称と調整方法

挿入口	—
R 粘膜保持アーム右	ツマミを引っ張って離し、任意の目盛りまで回し、カチッと音がるのを確認する
L 粘膜保持アーム左	ツマミを引っ張って離し、任意の目盛りまで回し、カチッと音がるのを確認する
A 垂直回転位置	ツマミを引っ張って離し、任意の目盛りまで回し、カチッと音がるのを確認する
B 水平回転位置	粘膜保持部を持ち上げ、任意の目盛りの位置に差し込む
Y チューブ前後	ツマミを緩め、任意の目盛りに動かし、ツマミを締める
X チューブ左右	ツマミを緩め、任意の目盛りに動かし、ツマミを締める
Z チューブ上下	ツマミを緩め、任意の目盛りに動かし、ツマミを締める ※Zを調節するときは、チューブを支えている部分を保持して行ってください。 指を挟む恐れがあります。
W チューブ角度	手で持ち、任意の目盛りまで動かす
M ヘラ差込み位置	手で持ち、任意の目盛りまで動かす
S 脱気	ツマミを引っ張って離し、任意の目盛りまで回し、カチッと音がるのを確認する ※脱気による胃壁のゆるみを再現します
背面ゴム紐	ゴム紐に空いている穴を突起に引っかけてセットする ※稜線を再現します

